

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	物流・産業		責任者	港営部 海務課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化		連絡先	052-654-7880	
事務事業名	無線通信事務		連携課		
目的	対象(誰・何を)	入出港船舶及び港湾関係者	事業期間	昭和26年度～継続	
	意図(どういった状態にしたいか)	安全で効率的な船舶航行を促し、円滑な港湾利用に寄与します。			
概要	名古屋港入出港船舶と国際VHF無線電話(ポータラジオ)により通信を行い、本船動静情報の入手や水先人、タグボート、係留施設、荷役状況等の情報提供を行います。		根拠法令等	名古屋港管理組合 港湾施設条例及び同 施行規則	
活動内容	取り扱う通信の内容は、①伊良湖水道航路通過時刻、港外や高潮防波堤の到着予定時刻、アンカー位置・時刻等の本船情報 ②水先人やタグボートのスケジュール情報 ③先船の荷役状況等の係留施設情報 ④風向、風速等の気象情報等です。また、鍋田ふ頭コンテナターミナル利用船舶に対しては、特定運用方法により、離着岸を円滑に行うための調整を行います。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	7,014	7,240	7,215	7,156	事業費は、保守点検の見直しにより減少しました。
人件費	千円	56,064	56,378	57,082	56,508	
合計	千円	63,078	63,618	64,297	63,664	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
適正な通信対応回数率(%) (単年度管理型)	目標	-	100	100	100	適正な通信対応回数÷無線通信回数	
	実績	100	100	100			
	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
無線通信回数(回)	目標	-	-	-	-		
	実績	22,644	20,133	18,636			
	事業進捗状況(27年度)				-		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	適正な通信対応回数率は、本年度においても達成できました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ ポータラジオの免許は、港湾管理者または海上保安庁に与えられるものであり、本組合が関与する必要があります。また、「無線通信回数」は低下傾向にありますが依然として通信回数も多いことから、利用者ニーズは高いと考えます。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 船舶の安全で効率的な航行に寄与することは、施策達成の一翼を担っていると考えます。また、成果については、「適正な通信対応率」は、100%達成されており、期待通りとなっております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 必要最小限の人員により直営で運営してきましたが、平成28年度からは、更なる効率化を図るため夜間業務を委託します。					

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
更なる効率性を高めるため、委託化を検討します。	平成28年度からは、直営による24時間勤務体制から日勤体制に移行し、夜間は業務委託を行います。これによりコスト削減(人件費)を図ります。